

女性研究者研究活動支援事業（拠点型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：東京農工大学（総括責任者：松永 是）

プロジェクトの概要

東京農工大学の女性未来育成機構に“キャリア支援ネットワーク形成部門”を新設し、5 機関(理工農)、13 企業(電子情報・化学・食品)及び“首都圏産業活性化協会”と連携して、女性研究者ネットワークを構築し、本学の支援基盤を連携機関へ普及する。

具体的な活動内容は、

- (1) ワークショップ・シンポジウム・SNS を共同運営する。
- (2) 他機関における育児期の女性研究者へ研究支援員を派遣し、育児相談窓口を開放する。
- (3) 連携企業との共同研究を加速し、連携大学間で教員メンター制度を構築するとともに、女性限定公募等の制度波及を図る。
- (4) 女子学生キャリアセミナーを企業と協働して実施し、女性研究者の裾野を拡大する。

これらの取組により、東京農工大学の女性研究者支援に係るノウハウを連携機関へ普及する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

女性教員の採用者数及び在籍者数は目標を超えて増加する成果を上げており、また、連携機関とともに、女性研究者支援のための関東地域における連携体制を構築し、女性研究者ネットワークシステムを活用することにより、実施機関における優れた取組を連携機関へ効率よく波及させたことは、評価できる。さらに、連携機関との産学連携を積極的に進め、産学共同研究を加速的に推進したことも評価できる。今後は、関東地域における連携体制の全国展開へ向け、新たな仕組みの構築を期待する。

- ・ **目標達成度**：実施機関においては、女性教員の採用者数及び在籍者数ともに、目標を上回り達成しており評価できる。また、連携機関との女性研究者支援ネットワークの構築、取組の連携機関への普及といった所期の目標も達成しており評価できる。今後は、女性研究者の研究力向上のための更なる取組に期待する
- ・ **取組**：連携機関と女性研究者支援のためのネットワークを構築し、連携シンポジウムや課題別ワークショップの共催、グループメンター制度の構築、研究支援員制度の普及等を介して、連携機関における女性研究者支援基盤の確立を支えたことは評価できる。
- ・ **取組の成果**：女性研究者支援の取組により、女性教員の採用者数増等の成果を上げるとともに、連携ネットワークを介した波及効果により、産学共同研究、リーダーシップ育成等を進め、女

性研究リーダーの育成に繋げたことは評価できる。今後は、大学院（博士）後期課程の女子学生比率の上昇、女性教授の増加を期待する。

- **実施体制**：学長直下の全学的組織である「女性未来育成機構」が事業全体を統括し、その運営委員会が迅速に意思決定を行うことができる効率的な実施体制を構築したことは評価できる。また、連携機関の担当窓口を明確にすることで、円滑な連携を図ることのできる体制を整備するとともに、事業のチェック機能を担う「機構推進外部評価委員会」を設置したことも評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後は、新研究院（グローバルイノベーション研究院）に「女性未来育成機構」を配置し、引き続き、学長のリーダーシップの下、大学改革に迅速に対応できる体制としており、評価できる。今後は、本事業で構築した関東地域における連携体制の全国展開を図ることを期待する。